

令和元年の自然災害への対応

資料3

令和元年は、風水害等により全国的に甚大な被害が発生

三重県でも、災害が発生し、様々な対策等を実施

被災地における支援(台風第19号被災地への派遣)

風水害に対する対応

中野市役所

【長野県中野市への派遣】

- ・派遣期間: 10月15日～22日
- ・派遣人員: 防災対策部職員2名
化学技師(災害廃棄物スペシャリスト)2名

【宮城県丸森町への派遣】

- ・派遣期間: 10月18日～11月16日(予定)
- ・派遣チーム: 保健師2名、行政職1、2名
※メンバーを交代し、7班派遣
(保健師は市町職員を含む)

【長野県への派遣】

- ・派遣期間: 10月21日から1か月程度
- ・派遣人員: 土木技師1名
※職員を交代のうえ1か月程度派遣

- その他、県内市町からも職員を派遣

○中野市での従事業務

- ①災害マネジメントの支援
- ②被災状況及びニーズの把握
- ③災害廃棄物処理業務の支援

◆被災地によりそった支援

- ◆今後の本県の応援受援体制の整備につなげる

三重県の主な被害状況 ※令和元年10月23日現在

●9月4日から6日の大雨

(人的被害)死亡1名、軽傷1名、(物的被害)住家半壊1棟、住家一部損壊8棟、住家浸水270棟(土砂災害)33件(被害額)約2,332百万円

●台風第19号(10月11日～13日)

(人的被害)軽傷3名(物的被害)住家浸水60棟(土砂災害)1件(被害額)約2,046百万円

●10月18日～19日の大雨

(物的被害)住家浸水38棟(土砂災害)6件(被害額)約223百万円

気候変動？

記録的短時間大雨情報

(1時間当たり120ミリ以上の雨量)

2013年の運用以来、2019年度は初めてで、計9回発表



●各部局への指示

「先を見越した対応に努めること。」

●県民への呼びかけ

「不要不急の外出を避け、ご自身の身を守る行動をとってください。」

■県北部の記録的大雨への対応のため、本部員会議を開催(9月5日)

今年度は緊急部長会議・本部員会議を計6回開催

記録的大雨の初動対応を検証し、今後の防災対応に活かす！！

台風15号の大規模停電を踏まえ、県内での対策を再検証！！

○三重県版タイムラインによる関係機関との連携

→台風接近前にタイムラインを発動し、「抜け・漏れ・落ち」のない対策を実施

○SNSによる情報発信

LINEの登録ユーザー数15,000名以上

→Twitter・LINEにより、県民のみなさまへわかりやすい情報を提供

AI、SNS等を活用した防災分野の実証実験を実施！！

○緊急派遣チームの市町への派遣

→災害に備え、8～10月に県から各市町へ延べ31名の職員を派遣

○防災ヘリによる現場確認

■災害現場の確認(10月27日)



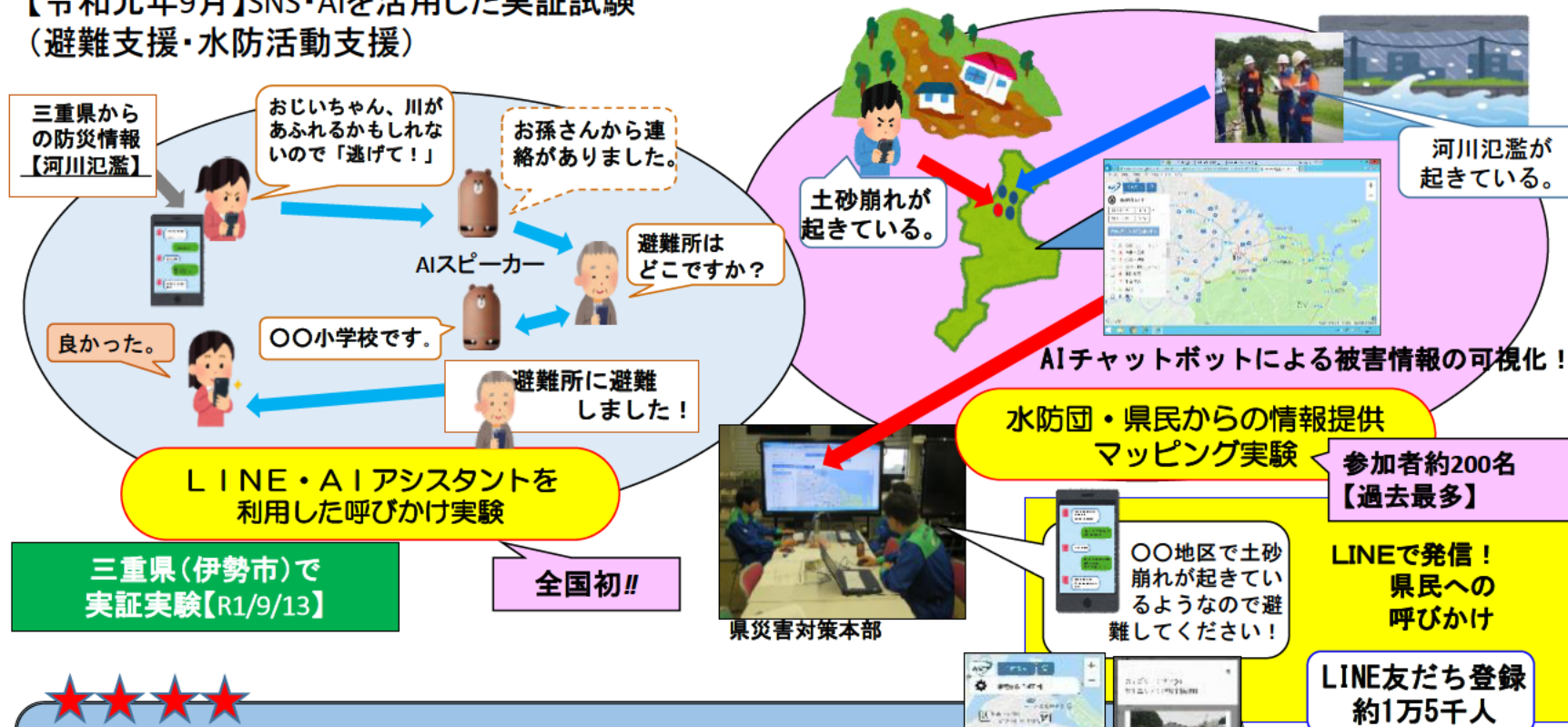
○今回の災害の検証を踏まえて、今後の土砂災害の未然防止につなげる！！

○スピード感を持って復旧を行う！！

Society5.0（防災分野）の地域社会での実現

高齢者が被害にあうことが多く、被災地の情報が災害対策本部にリアルタイムに届かないといった課題を、AIやICT技術を活用して課題を解決していく。

【令和元年9月】SNS・AIを活用した実証試験
（避難支援・水防活動支援）



台風第19号到来時には、実証試験で用いたシステムを活用し、約150件の情報が市や水防本部から得られ、視覚的にわかりやすく、災害対策本部の活動に大変参考になった。

【成果】○声での反応がわかりやすい
○リアルタイムで情報が得られる

【課題】○行政側の情報入力に手間がかかる
○いかに住民から必要な情報を得るか

今後も改善が必要！